

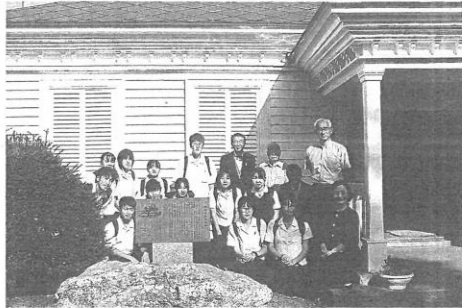
令和5年8月5日(土)付の「日高報知新聞」に本校の北海道研修の様子が掲載されました。

(第3種郵便物認可)

学徒援農の縁で交流

福岡の小倉南高の生徒が浦河を訪問

戦時中の学徒援農が縁、06人の生徒12人が、浦河町とのつながりが24日まで浦河町内にある北九州市の福岡県立滞在、農業体験や交流小倉南高校(生徒数6)活動に取り組んだ。



学徒援農記念碑の前で記念撮影



馬房を掃除する生徒たち

太平洋戦争中、中等学校や農学校の生徒が学徒援農に動員され農家に分宿し、農作業に従事する学徒援農活動が行われていた。小倉南高校の前身である小倉園芸学校の生徒42人が1943年(昭和18年)に浦河町に派遣され、当時の秋伏村で農作業に従事した。

一行は、2日夕方に浦河町に到着。援農記念碑がある旧秋伏村役場の赤心社記念館前で池田拓司校長、浅野浩嗣教育長、秋伏地区の礎を築いた開拓記念の一学徒援農記念碑の建設に賛用の池田町長が歓迎した。池田町長は「こうして皆さんが浦河の地に足を運んでくれることをうれしく思う。皆さんの先達が戦時中の大変な時代に苦勞されたことを学び、九州から来た皆さんが覚えていないことを伝えてほしい」と生徒たちの訪問を歓迎した。

道に来てよかった」と笑いながら顔を覗かせていた。3日は、午前8時半からアエル近くの功野馬がた、馬が食べる牧草を配るセンターを訪問し、養馬を働く作業に取り組み、約1時間12人は乗馬課チームの作業で汗を流した。このあとJRA日高育成牧場の施設見学、浦河高校で浦河高生との交流をなど行い、4日は午前9時半にチェックアウトして浦河を出発、白老町で、ボロミとボロカきのワポボイを巡り、馬房の馬糞を取

馬房を掃除する生徒たち

今、浦河町を訪れたのは、校内選考で参加した13年生12人の生徒と引率の教員2人。滞在中は、アエルの厩舎で戻ってから伝えていき「い」と話し、全員で記念碑を囲み記念撮影。夕方、心地向い風を感じると「風がさわやかで、北海道に比べて、北

馬房を掃除する生徒たち

今、浦河町を訪れたのは、校内選考で参加した13年生12人の生徒と引率の教員2人。滞在中は、アエルの厩舎で戻ってから伝えていき「い」と話し、全員で記念碑を囲み記念撮影。夕方、心地向い風を感じると「風がさわやかで、北海道に比べて、北

※上記の記事は、「日高報知新聞」に許可なく無断で転載することを禁止します。